

2013/10/4 (金曜日) 第1450号

住まいと暮らしの情報紙

週刊 タイムス住宅新聞



和室からリビングを望む。テラスまで延びたダークグレーの壁が通りからの視線を遮る。
大きなサッシから室内にたっぷり光が差し込み開放的（撮影／フォトアートたかの）

お住まい
拝見
Tさん宅（家族4人
自由設計 RC造）

柔らかく視線遮る壁 公私分けてのびのび

今週のおすすめ

- ◆住宅を共有名義にする
と？／控除活用、リスク分散
- ◆屋上庭園を楽しむ／設置
の注意点と管理法

（3面に紙面案内）

発行

株タイムス住宅新聞社

30th

〒904-2234 沖縄県うるま市市崎7-14

TEL 098-934-1122(代) FAX 098-934-2287(編集部)

<http://www.jpress.co.jp>

沖縄タイムス

本紙は「沖縄タイムス」とセットで配達される
副読紙です。購読の申し込みは左記の電話へ。

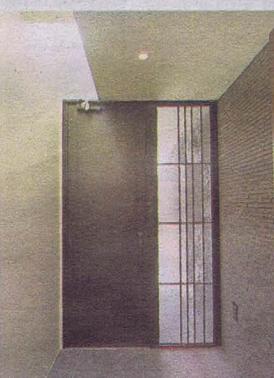




リビングから和室を望む。キッチン横のパントリーは回遊性を持たせており使い勝手は抜群。急な来客の際の片付けにも大活躍してくれる



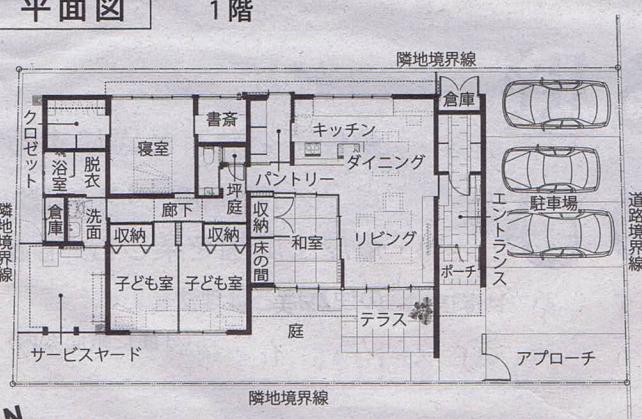
バスタブはほとんど使わないので思い切ってシャワールームに。あえて脱衣室との段差を設けることで、湯をためれば半身浴ができる深さを確保した



エントランス。扉の横にはめ込んだ透明のステンドグラスやトップライトの効果で、柔らかな光が切りに広がる

平面図

1 階



視界良好子育ても安心
もともと別の土地でアパート住まいをしていたTさん家族。「子どもの成長や、今後家族が増えることを想定し、ゆ

させた。建築士とは友人の紹介で知り合つた。「話を詰めていくうちに公私の空間を分けるプランが固まつた。初めのプレゼンの段階でほぼ9割、希望が形になつていました」

(岸科理子)

お住まい
拝見

Tさん宅

家族も客も快適に

室内に足を踏み入れると
すぐに開放的なLDKが広が
る。どこにいても、和室のベ
ビーベッドで眠る長男や、リ
ビングのソファでくつろぐ長

女の姿が見える。内装は白壁とダークブラウンのフローリングで統一され、落ち着いた雰囲気だ。家族だんらんの場を、南側の庭に続くサッシから差し込む光が優しく包み込む。

平屋のTさん宅の間取りの特長は、公私のスペースをはつきりと分けているところ。LDKを通り抜けた突き当たりに手洗い場を配し、その奥に子ども部屋や主寝室、浴室などをまとめたことで「家族も客も不快を感じることなく

A photograph of a child sitting on a dark wood floor in a room. The child is facing away from the camera, looking at a large shelving unit filled with various toys and books. To the left, there's a pink storage bin and a small round table with a toy on it. To the right, a green and yellow play gym is visible. The room has white walls and a window with white curtains on the right side.

と信頼を寄せる。

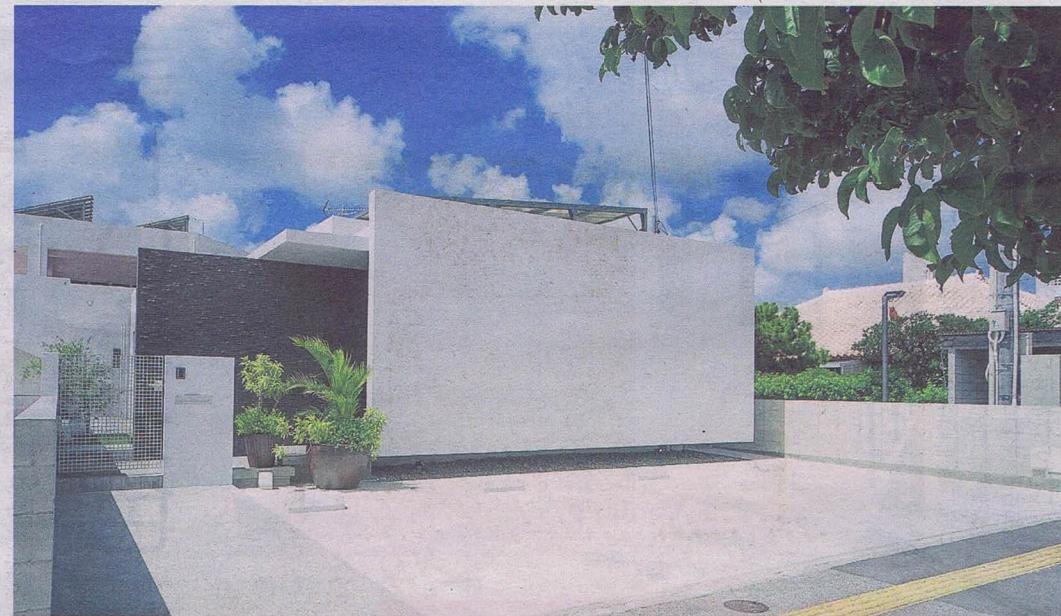
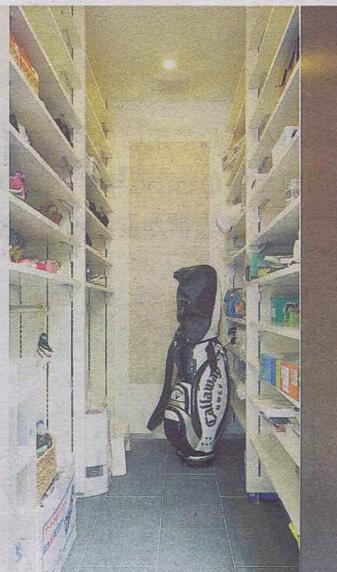
Tさん夫妻は片付けに時間
をかけずにするよう、収納の
充実を要望。出来上がった大
容量のシューズインクロゼッ
トやパントリーは、大まかに
物を入れるだけで簡単に片付
けられ、仕事や育児で忙しい
夫妻を助けてくれる。また、
小学校の通学路となつている
東側の道路からの視線も気にな
なついたため、室内の壁を
庭まで延ばし、視線や音を遮
れるようにした。

ほほ毎日 孫の世話を語っているTさんの母親は「視界が開けていて家具が少ないのでも安心。私の家も同じ間取りで建て替えるくらい」と、すっかりお気に入りの様子。

Tさんは「子どもがもう少し大きくなつたら、親戚や友人を呼んで庭でバーべキューをしたい」と、心地良い家に守られ成長していく家族に思いをはせ、笑みがこぼれた。



④玄関には約3畳のシューズインクロゼットを備えている。靴のほか、ゴルフバッグや、日用品など、なんでも入る余裕の広さ
⑤子ども部屋や主寝室に向かう廊下。天井から光を取り入れているので、プライベートスペースでも明るく閉鎖的な雰囲気はない



小学校の通学路に面した家の東側には駐車場やエントランスを設けている。外観のアクセントとなるダークグレーの壁と、地面から浮かせた軽やかな印象の白壁を組み合わせたことで、圧迫感なく外から室内への視線を遮ることができた

DATA

家族構成：夫婦、子ども2人
敷地面積：281m²(約85坪)
1階床面積：128.24m²(約38.79坪)
建ぺい率：47.49%(許容60%)
容積率：45.64%(許容200%)
用途地域：市街化調整区域
躯体構造：壁式鉄筋コンクリート造
設計：casa studio 奥濱司
施工：株式会社金城工務店 金城司
構造設計：有建築設計庵 長間大輔
電気：下地電設 下地隆
水道：原設備工業 畠山孝
キッチン：(有)モブ 照屋涼子

◆設計・問い合わせ先
casa studio ☎098-894-7818
http://www.casa-studio.net



リビングのテレビ後ろの壁が外のテラスまで続くことで、通りから視線を遮るときに、眺めに奥行きをもたらしている

豊富な収納もこの家の特長。大まかに物をしまえる大容量の収納を玄関、台所、寝室など家の要所に配置し、使った物はその場で片付けられるようしている。おかげで家具いらすのすつきりとした暮らしが実現した。

Tさん宅を印象付けていた大きなポイントは、リビングのテレビ裏からテラスの東側まで一直線に延びたダークグレーの壁。通学路となつている道路から室内への視線を遮る役割を果たす。「閉じ過ぎず、かつすつきりとしたデザインを心掛けました」と話すのは建築士の奥濱司さん。この壁が目隠し以外の役割を果たしている点にも注目だ。

石積みのような凹凸模様の壁は、白壁を基調とした家のアクセントに。室内から外にまで壁が延びることで部屋からの眺めに奥行きを演出する役割も。奥濱さんは「コストはかかるが、Tさんもこの壁は妥協したくないということを実現した」と話す。壁とサッシの接触部分は「縁を切りたくない」とフィックスしているので、見た目も美しい。多彩に空間を演出する一枚の壁が、この家を一層魅力的にしているようだ。

ここが ポイント 多彩に空間演出 内外貫く一枚壁

CONTENTS

- | | | |
|---|-------------------------------|--------------------------------|
| 01 お住まい拝見／Tさん宅 | 09 メンテしよう！(プロに頼む)／ケアリフォーム | 19 リビング通信 |
| 04 おおらかに暮らす沖縄のすまい／琉球石灰岩
美しい象牙色 加工も多様 | 住人十色 | 20 ひと |
| 05 かたづけ相談室／実家の荷物 | 10 うまんちゅトーク | 21 インテリアガイド |
| 07 脱力系FPの家にまつわるお金のこと
共有名義で控除をフル活用 | 11 和風庭園を見る／Nさん宅 | 23 目指せ！インテリア美人
好きなティスト、色で統一 |
| | 12、13 見開き企画／屋上庭園
緑で省エネ&癒やし | |